



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第36号

平成28年7月



厳かに執り行われた、布施神社の御田植祭

発行：市辺地区まちづくり協議会／東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 0505-802-3392
ホームページ 万葉のまち市辺 <http://www.ichinobe.com/>

万葉のまち市辺 検索



平成28年度市辺地区まちづくり協議会総会を開催

5月15日
(水) 市辺コミセンにおいて市辺地区まちづくり協議会定期総会が開催されました。総会は、野口町自治会長の相森美児氏を議長に選出し、平成28年度事業計画など9議案を審議し可決決定しました。



ご挨拶

平素は市辺地区まちづくり協議会の諸活動に対し、ご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市辺地区まちづくり協議会も平成19年2月に設立以来10年を迎えようとしています。この間、だれもが『このまちで心豊かに住み続けたい』と感じられる市辺地区を目指し、自治会連合会や各種団体と連携を図りながら、まち協の運営に努めてこられた歴代役員並びに各部のまちづくり委員さんの活動に対しまして心から感謝申し上げます。

平成28年度 市辺地区まちづくり協議会事業計画 (本体部門)

役員・事務局

- 市事業への積極参加
14地区合同事業（婚活）
研修会、交流会・フォーラム等
- 協働事業の推進・人材育成の推進
コミセン・各種団体との共催事業の企画立案
地区防災取組研究
- 事業資金の研究（各種補助金等）
- まちづくり計画書の見直し
- 指定管理事業の充実

まちづくり委員会各部事業活動

1. 広報部
■広報誌「万葉のまち市辺No.35号～38号」の発行
各1,350部
■ホームページを更新（随時）
2. 地域活力部
■ムラサキプロジェクトの推進
■万葉フェスタ
3. 子ども健全育成部
■各種団体とのコラボ事業等（子ども安全・安心教室）
4. 安全・安心部
■地区安全パトロールへ参加

さて、5月15日、平成28年度市辺地区まちづくり協議会の定期総会が開催され、「まちづくり部門」「コミセン部門」の平成28年度事業計画と収支予算が承認され、実質的に平成28年度の事業がスタートしました。

各部では、すでに具体的に活動が行われています。自然環境部では5月27日いも苗植え、地域活力部では5月21日ムラサキの苗の配布、また歴史文化部、安全安心部、健康福祉部、子ども健全育成部、広報部ではそれぞれ部会を開催し活動計画を協議されました。また今年度はまちづくり計画書の見直しを進めるためのプロジェクトを立ち上げるべく準備を進めています。

いずれにいたしましても、住民が共に支えあい、安心して暮らし続けることができる市辺地区を目指してまち協の活動をすすめてまいりますので、引き続き皆様のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

市辺地区まちづくり協議会会長

須田 智廣

須田智廣会長



平成28年度 役員紹介

- | | |
|------|----------------------|
| 会長 | 須田 智廣（自治会連合会・柏） |
| 副会長 | 中村善次郎（自治会連合会・糠塚） |
| | 平尾 彌一（社会福祉協議会会長・東市辺） |
| | 榎木 貞夫（まちづくり委員・長谷野） |
| 事務局長 | 高頭 勇次（コミセン館長兼務・船岡） |
| 会計 | 今井 肇（まちづくり委員・船岡） |
| 会計監事 | 小菅 光生（自治会連合会・西市辺） |
| | 吉見 弘美（自治会連合会・船岡） |

AED講習

防災マップ作り及び地区自主防災推進の取組

5. 自然環境部

- コンポスト普及事業「善玉菌で美しい地球を！」
- まちづくり農園事業（園児・小学生とのふれあい）
- 日帰り研修旅行（環境）・出前講座
(ゴーヤ・サニーレタス)
- 「自然環境部だより」の発行

6. 歴史・文化部

- 市辺きし発見塾（5回シリーズ）
DVD作成・市辺歴史発見こども塾・歴史セミナー等
- 第4回蒲生野万葉短歌会の開催

7. 健康・福祉部

- 福祉・・・認知予防講座等
- 健康・・・マクロビオティック教室

平成28年度収支予算

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	321,497	事務費	795,000
交付金	1,560,000	会議費	5,000
助成金	27,000	広報部	140,000
繰入金	200,000	子ども健全部	20,000
雑収入	171,503	安全安心部	15,000
合計	2,280,000	歴史文化部	330,000
		自然環境部	375,000
		地域活力部	30,000
		健康福祉部	25,000
		負担金	345,000
		予備費	200,000
		合計	2,280,000

広瀬家文書「新島襄書簡」能登川博物館で保存

市辺コミセンの和室に永く掛けられていた広瀬家書簡額を今般東近江市立能登川博物館で保存することになりました。

この書簡は、新島襄氏が広瀬家に宛てたもので、貴重な文化遺産です。



平成28年度から 地域担当職員を導入

平成28年度から地域担当職員が導入されます。

どのような制度でしょうか

◎地域担当職員とは

地域と行政の相互の情報伝達の役割、地域内の活動団体とのつなぎ役として、地域のまちづくりについて共に考え、支援を行う職員。

◎目的

- ①地域課題の庁内横断的な推進（縦の枠を超える対応）
 - ②地域の特性を生かした施政の推進（地区へのサポート強化）
 - ③現場主義の人材育成（市民目線で仕事する人材を育成する）
- まちづくり協議会と行政が積極的に現場へ入り、協働のまちづくりを実践する。

◎体制

市職員から公募で選ばれた職員を、地区まちづくり協議会に地域担当職員として3名以上配置します。

◎日程

- 6月30日（木）任命式、キックオフ講演会
 - 7月14日（木）顔合せ、意見交換会（八日市8地区）
- 上記日程終了後各地区でスタートします。

布引小学校で出前講座

「布施山城をたずねて第1部・第2部」DVDを映写 歴史文化部

6月22日に布引小学校で6年生60数名の参加を得て、ビデオ作品「布施山城をたずねて第1部と第2部」を映写して出前講座を行いました。平尾徳雄と東野喜代詞が簡単な説明をし、皆さん熱心にビデオ作品を見て質問や感想もあり、話も熱心に聞いてくれました。

布施山に城があったことを知っていたのは、布施町の生徒1人だけでした。山城をイメージしやすいように持つて行った布施山城の80分の1のジオラマもみんな熱心に見ていました。子どもたちに布施山城の事を知って貰えたことは良かったと思います。

8月6日（土）の「市辺れきし発見子ども塾」「テーマ布施山城を探検しよう！」の説明もして参加のお願いをしてきました。

5月20日の市辺地区「ふれあい学級」でもビデオ作品「布施山城をたずねて第2部」を映写して出前講座を行いました。



新企画

このまち「にの人」

飼育の名人

蛇溝町 奥村與兵衛さん

奥村さんは、まち協「自然環境部」で活躍されており、幼稚園や保育園の子ども達が毎年、芋掘りの後の試食会でお世話になっています。一方、メダカの飼育をされておられると言聞きました。丁度、産卵の時期で近くふ化の準備をされるとのことでした。

作業場前の一角は、4種類のメダカ、ランチュウ、錦鯉、烏骨鶏、美濃古地鶏、うずら、ミニ兎など全部で8種類が暮らす、小動物園です。お話を聞くと、小さい頃からの生き物好きのことですが、趣味の世界を超えた「飼育名人」です。

生き物を愛し、自然を大切にされる人柄は「與兵衛さん」の愛称で、誰からも頼りにされています。

この広報誌が届く頃には、子メダカが元気に泳いでいることでしょう。



部会だより

平成28年度の各部の活動

安全安心部

安全安心部としては昨年に引き続き以下の内容で活動していきます。

- ① 夏期及び年末の防犯パトロールへの参加
- ② 普通救命（A E D）講習会開催
- ③ 市辺地区の防災マップ作成
- ④ 地区防災の取組み研究への参加

健康福祉部

- 認知症の予防や対策について、地区社会福祉協議会等関係団体と連携し、協力していきます。
- 命のバトンの新規需要や医療機関情報紙の変更等、速やかに対応出来るよう周知徹底し、緊急時支障が生じないよう努めます。

8月21日（日）予定、天然酵母パン作り「酵母で腸が喜びます」

10月30日（日）万葉フェスタ出店 天然酵母食パン・蒸しパン、無農薬コーヒーの旨さを実感。添加物の怖さを考える機会です。

11月20日（日）予定、マクロビオティック料理「ごま豆腐作りに挑戦」精進料理の定番、ごま豆腐を簡単に作って頂きます。

今年度も食の安全安心はもとより、マクロビオティックな食育を推進して行きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

地域活力部

本年度の行動計画（一部実施済）

- 5月21日 ムラサキプロジェクトの普及活動
- 5月21日 万葉公園にムラサキ苗の植栽
- 6月26日 除草作業
- 7月末日 除草作業
- 10月30日 万葉フェスタ参加
- 11月 ムラサキ栽培について座談会

歴史文化部

歴史文化部会の事業計画をお知らせいたします。

- 「市辺れきし発見塾の開催（5回シリーズ）」
 - ①8月6日（土）8時～ 市辺歴史こども塾
テーマ「布施山城を探検しよう！」
午前8時観察留館前に集合 布施山に登ります。
 - ②9月24日（土）午後1時30分～れきしセミナー①
テーマ「布施山城の構造について」
講師 中井均氏（滋賀県立大学 人間文化学部
地域文化科 教授）
 - ③10月22日（土）奈良県立万葉文化館特別展見学
「蒲生野遊獵図」の鑑賞と飛鳥の散策
(乗用車乗り合わせ)
 - ④11月20日（日）午後1時30分～
DVD「市辺れきし発見」

タイトル「布施のため池ものがたり」の完成お披露目会（完成試写会・関係者によるディスカッション・関連クイズ）只今製作準備中

⑤2月11日（土）れきしセミナー②

「テーマ 古地図から読み解く市辺の歴史」

講師：松井善和氏（元長浜高等学校長）

○ 「第4回蒲生野万葉短歌会」

現在短歌作品募集中

自然環境部

新しい部員さんも迎え、今年も楽しく活動させていただきたいと思っています。前年を踏襲するばかりでなく、今年は新しく、ラッキョウの加工や、豆腐作りにも挑戦してみたいと思っています。

予定の活動は下記の通りです。（一部実施済）

- 4月末 ゴーヤ蒔種
- 5月下旬 ゴーヤ苗配布（船中、市辺幼）
- '' さつまいも苗植付
- 6月下旬 大豆蒔種 ラッキョウ加工
- 8月下旬 涼み部会
- 9月下旬 いきいき塾いもほり
- 10月中旬 収穫祭（保育園芋掘り）
- 10月下旬 幼稚園芋掘り
- 10月30日 万葉フェスタ参加
- 11月中旬 レタスのポット植え
- 12月上旬 コラボ村出展
- 12月中旬 環境部忘年会
- 1月中旬 豆腐作り
- 2月中旬 見学研修
- 2月下旬 レタス苗配布
- 通年 コンポスト設置

堅苦しい活動ではなく参加するのが楽しみになる、そんな部活動で有りたいと願っています。入部随時受け付けます。

子ども健全育成部

子ども健全育成部は、子ども達の安全で安心な成長を願っています。今年度は「安全な自転車の乗り方教室」を開きたいと思っています。

時期としては万葉フェスタ後に予定していますので、子ども会連合会、地域教育協議会、安全・安心部のご協力をお願い致したく、その節には、よろしくお願ひします。

7月に入ってから本格的な計画を立てますので、今回は、十分な事がお知らせできなくて申し訳ございません。

編集後記

熊本の震災で甚大な被害が出、今も、多くの方が避難生活を続けておられます。
知人に見舞いの電話をしましたが、遠いところであり、直ぐにはどうにもなりません。やはり、身近な人の繋がりが何よりも大事だと思います。

田舎には、今も様々な助け合いの組織があります。しかし、都市化や価値観など時代と共に薄れることは避けられません。人との関係や地域情報の共有を補ってくれるのが情報誌や地方紙です。少し身近な地域誌（紙）が「市辺だより」や「各種団体の広報紙」です。この「まち協広報誌」は季刊ですが、その役割を果たすべく広報部委員一同頑張っています。みなさんの広報部への参加と寄稿を心よりお願いいたします。（明）